

町子ども発達支援センター

療育と子育て支援を兼ね備えた町立施設として萩野小学校の空き教室(棟)に開設され、来年で開設20年を迎えます。専門職による総合的な支援体制を、療育・発達相談を担う母子通園「エミナ」(アイヌ語で笑い・ほほえみ)と、子育て支援を担う「ピヌピヌ」(内緒話)の事業を展開しています。愛称は公募で付けた「ひだまり」です。

か。
(通信「ひだまり」から)

過ごす時間を楽しんでみませんか。入園・入学・進級して2カ月。お子さんの様子はいかがでしょうか。大人にとっても新しい生活が始まったことでしょうか。新しい環境の中、緊張したりドキドキしたり不安になったり、お友達や先生との出会いなど、はじめの一步を踏み出したことと思います。そして、いろいろな出会いや経験、日々の繰り返しの中でひとつずつ成長していきます。その半面、家でイライラしたり泣いたりすることがあるかもしれません。そのよくな時は「大丈夫」と声を掛けたり寄り添ってお話を聴いたりしてみましよう。解決しなくても聴いてくれる人がいることで、安心して明日へのパワーにつながると思います。お布団の中や入浴中のつぶやきにも耳を傾けてください。休日は、気持ちに余裕を持ちお子さんと一緒に過ごす時間を楽しんでみませんか。



エミナ

入園・入学・進級して2カ月。お子さんの様子はいかがでしょうか。大人にとっても新しい生活が始まったことでしょうか。新しい環境の中、緊張したりドキドキしたり不安になったり、お友達や先生との出会いなど、はじめの一步を踏み出したことと思います。そして、いろいろな出会いや経験、日々の繰り返しの中でひとつずつ成長していきます。その半面、家でイライラしたり泣いたりすることがあるかもしれません。そのよくな時は「大丈夫」と声を掛けたり寄り添ってお話を聴いたりしてみましよう。解決しなくても聴いてくれる人がいることで、安心して明日へのパワーにつながると思います。お布団の中や入浴中のつぶやきにも耳を傾けてください。休日は、気持ちに余裕を持ちお子さんと一緒に過ごす時間を楽しんでみませんか。

母子通園「エミナ」はお子さんの発達に不安や心配を感じている、お子さんと家族を対象に、療育(個別・集団など親子と一緒に通園)と発達相談を行っています。例年、40~50人ほどの幼児・学童が通園しています。

例えば こんな心配...

からだが硬く、動きがぎこちない／からだが柔らかく、くしゃくしゃしているみたい／落ち着きがなくじっとしていない／視線が合わない／歩き始めるのが遅い／名前を呼んでも、声を掛けても振り向かない／指示や話の内容を理解していないみたい／うまく発音できない音がある／お話ししたいのことがなめらかにでてこない／ひとりでは遊べるのにお友達とはうまく遊べない...など

以上のようなことで気になることがあれば、ひとりで悩まず気軽に相談してください。

● どんなんたちが担当しているの? ●

ことばやコミュニケーションの発達を個別で療育する**言語聴覚士**(2名)、運動や生活動作を個別で療育する**作業療法士**(1名)、手遊びや絵本の読み聞かせ、集団遊びなどのグループ療育を通し、お友だちや大人とのやり取りが楽しめるよう療育する**保育士**(2名)が担当しています。

◎児童福祉法に基づいて運営しており、利用料がかかります。

利用料の保護者負担分は国の制度に基づいています。「児童発達支援」と「放課後等デイサービス」の両方の事業を併設する多機能型事業所です。※令和元年10月から、3歳から5歳までの利用負担が無償化されています。

● どんなんことをしているの? ●

- 個別療育(月・火・木・金曜)
個別(作業療法士 言語聴覚士)と小集団(保育士)を組み合わせる1回の療育内容としています。
- グループ療育(木曜午前・水曜午後)
母子グループと、母子分離グループを組みます。
- 放課後等デイサービス(月~金曜)
(14時30分~16時30分 中高生は17時)
学校に通学中の支援を必要とするお子さんを対象に、生活能力の向上のための訓練や余暇活動を行っています。

こんな施設ですよ~

